

注意報第3号

各関係機関団体の長
各病虫害防除員
農業資材販売等関係者
} 殿

福岡県病虫害防除所長

平成20年度病虫害発生予察注意報第3号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第3号を発表したので送付します。
カンザワハダニの発生が8月に入り急増しています。それぞれの茶園における発生状況の把握に
努め、防除指導の徹底をお願いします。

茶

- 1 病虫害名：カンザワハダニ
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生量：平年・前年より多い
- 4 注意報の根拠
 - (1) 8月5半旬の調査では、寄生葉率10.2%、50葉当たり寄生虫数36.4頭、発生ほ場率56.0%と平年・前年より多い発生であった(表参照)。
 - (2) 8月以降、発生程度、発生ほ場率ともに急増している(図1、図2、図3参照)。
 - (3) 向こう1か月の気温は高いと予想されており、今後も発生量が増加することが予想される。

表 カンザワハダニの発生状況(8月5半旬)

	寄生葉率(%)	50葉当寄生虫数(頭)	発生ほ場率(%)
本年	10.2	36.4	56.0
前年	2.4	5.7	46.2
平年	1.7	2.9	30.4

- 5 防除上注意すべき事項
 - (1) 各ほ場ごとに発生状況をよく観察し、秋芽伸育期(8月下旬から9月上旬)に寄生葉率が2%以上である場合は直ちに防除を行う。
 - (2) 薬剤は、寄生の多い葉裏・裾葉に十分にかかるよう丁寧に散布する。
 - (3) 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を避け、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
 - (4) 農薬散布の際は使用基準を遵守するとともに、近隣ほ場への飛散防止対策を講じる。

